



奥義 星平会海入門 1

中国運命学の最高峰である統合運命学をどのように使うか？

1



星平会海という言葉の由来

- 星は、占星学のことです。
- 平は、四柱推命を発明した子平という人物に由来します。(中国では四柱推命のことを子平と呼んだ)
- 占星学と四柱推命が、海で会って統合されたという意味があります。
- 実際の古代の鑑定書を見ると、占星学と四柱推命の他に宿曜経と紫微斗数推命の盤も記されているので、4つの占いを統合して鑑定する技法が、星平会海という占いです。

2



4つの占いを統合して鑑定するコツ

- 宿曜経と紫微斗数推命は**月**の運行から、盤を作成します。月は、人間の肉体を示しますから、肉体で感じる情感などを鑑定します。
- 四柱推命は、**太陽**の運行から命式を作成します。天干と地支に別れていますが、天干は**精神面**を鑑定し、地支は**肉体面**を鑑定します。天干と地支を統合した十二運星は、**行動様式**を鑑定します。
- 占星学は、**太陽系の惑星**の運行からホロスコープ図を作成します。惑星は魂の特徴を示し、星座はその惑星のエネルギーの源を意味します。
- **霊的(直観・インスピレーション)**なものと**物質**から構成されている人の2重構造を理解しないと、4つの占いを統合して使うことはできません。

3



人の構造

- もっとも物質的なものは肉体です。つまり、骨とか皮膚とか血液といったものです。この肉体の最も繊細な部分がエーテル体です。
- 肉体の1つ上の霊的な段階が情感です。好き・嫌い、善・悪、苦しみ・楽しみ、不安・安心、損・得、自信・迷いといった**2分思考**の段階が情感の源です。**悩みの源**です。
- 情感の1つ上の霊的な段階が知性です。論理的思考の源です。**冷静な心情の源**です。
- 知性の上が霊の世界になりますが、この霊の世界との接点に**魂**は存在します。魂は最も、微細で肉体から遠い存在となり、永遠に魂を構成している粒子は死を迎えることはありません。

4



人の構造 魂と知性が通信できない場合

- 魂は、自分は何者かを知っており、人生の目的を知っている
ので、**知性をコントロール**することができる。
- 知性は、理論的であり明瞭であり冷静なので、**情感をコントロール**することができる。
- 情感で感じたことは、そのまま肉体を動かすことになるので、**情感は肉体をコントロール**することができる。情感が不安定だと肉体も不安定になり、病気になりやすい。
- 魂が知性と通信ができない場合、**知性は混乱**し、明瞭な思考ができない。ゆえに、情感はコントロールできなくなり、情感レベルの悩みが発生してしまう。情感レベルの悩みとは、好き・嫌い、善・悪、苦しみ・楽しみ、不安・安心、損・得、自信・迷いなどの、どちらか一方へのあこがれから発生するものである。その多くは、自己中心的な動機であることが多く、他人のことを心配するという悩みは極めて少ない。

5



人の構造 魂と知性が通信できる場合

- 魂は、過去の自分の生涯を知っており、今世での使命を知っており、どのように生涯を送るべきかを知っています。
- 魂と知性が通信できていれば、知性は明瞭であり、人生に対しプランを立てていきます。
- そして明瞭な知性は、情感をコントロールしていきます。
- 肉体と情感と知性と魂が整理整頓されていれば、人は自分の内面を見て悩むことはありません。しゅくしゅくと、自分の役目をまっとうするだけです。そして、他人のために奉仕的に生きるようになります。または、自分の所属するグループのために、生きるようになり、悩みの中心は自分ではなく、**グループ全体**に変化していきます。

6

知性が間違った真実を受け入れてしまった場合は例外的診断が必要

- 知性は冷静で情感をコントロールしますが、その知性が**間違った真実**を受け入れてしまう場合があります。一見、**真実**に見えるカルト教団の教義などがそうです。知的な部分で間違った理論を受け入れてしまうと、その転換には20~30年もかかってしまいます。こういう場合には、運命学が手を出せる範囲を超えてしまいます。知的なマインドコントロールは**開放しにくく**、被害が大きいわけです。
- しかし、その時代にあった新しい**真実**を受け入れた場合には、知性が啓発され、生涯にわたり**継続して**情感をコントロールできるので、成功への道が開かれるわけです。
- いっぽうで情感レベルで間違った感情を持ってしまった場合は、もともと、情感というのは、**変わりやすく継続しない**性質のもので、被害は大きくありません。情感レベルのマインドコントロールはすぐに開放できます。

7

極端な思想には注意が必要

- 35年前の大学では、マルクスレーニン主義を学ぶことが最先端でした。しかし、それを実行したソ連は崩壊しました。極端な物質主義は人の霊性を無視している欠点がありました。
- 現在のグローバリズムでは、極端な貨幣主義です。貨幣を輪転機で印刷できる権限をもった人が、国家の権力の中枢を握る仕組みです。
- この2つの**どちらが正しいか？**という発想をするのは、**2分思考**の情感レベルです。この発想をしている限り、知性レベルまでいきませんので、悩みが発生します。
- マルクスレーニン主義の根底にある**物質の分かち合い**という思想は良いものとして認識します。国境のない世界を作る、**世界を融合**していくという思想はグローバリズムの良い点として認識するのが、魂に近い知性の発想です。

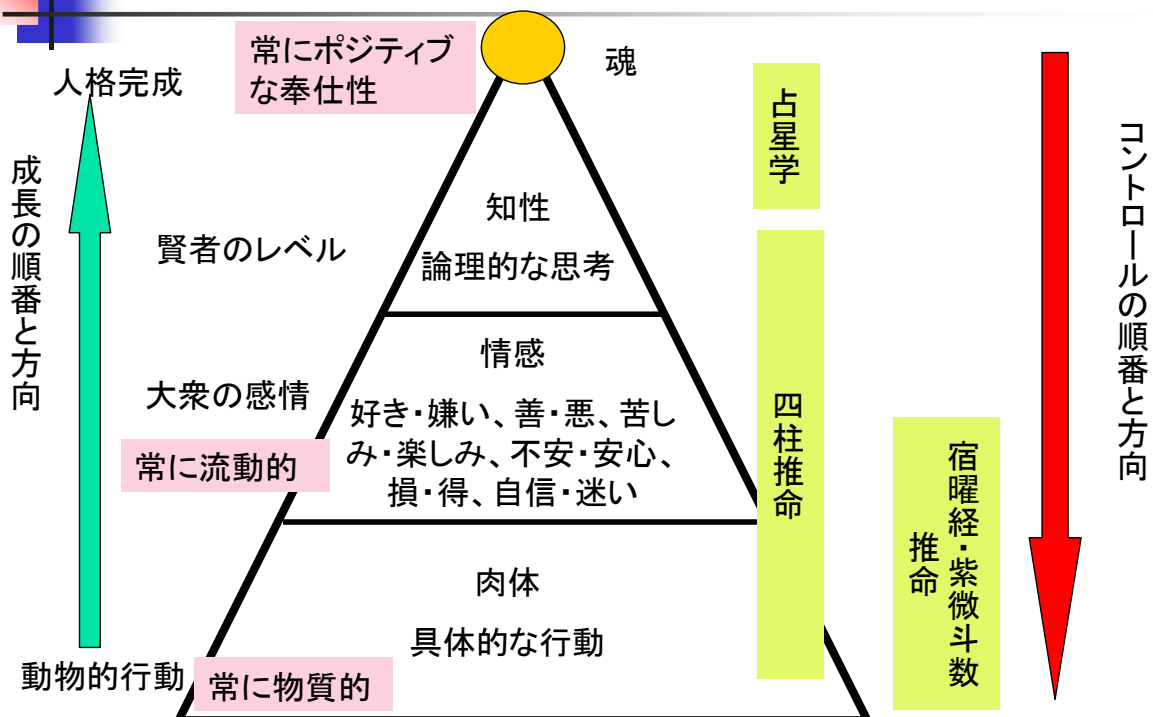
8

休憩

次は今までの人の構造のまとめと応用

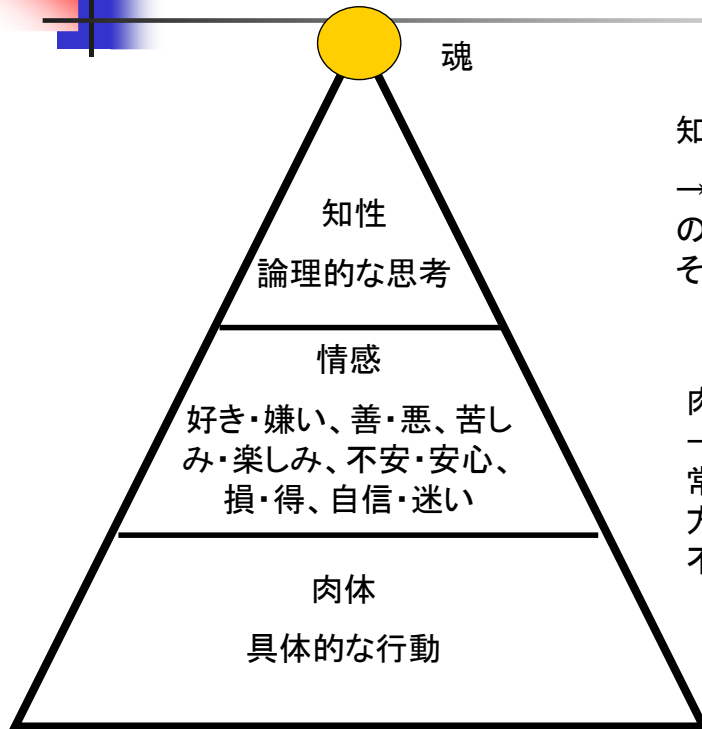
9

人の構造のまとめ



10

喜びとは、楽しみと同一か？



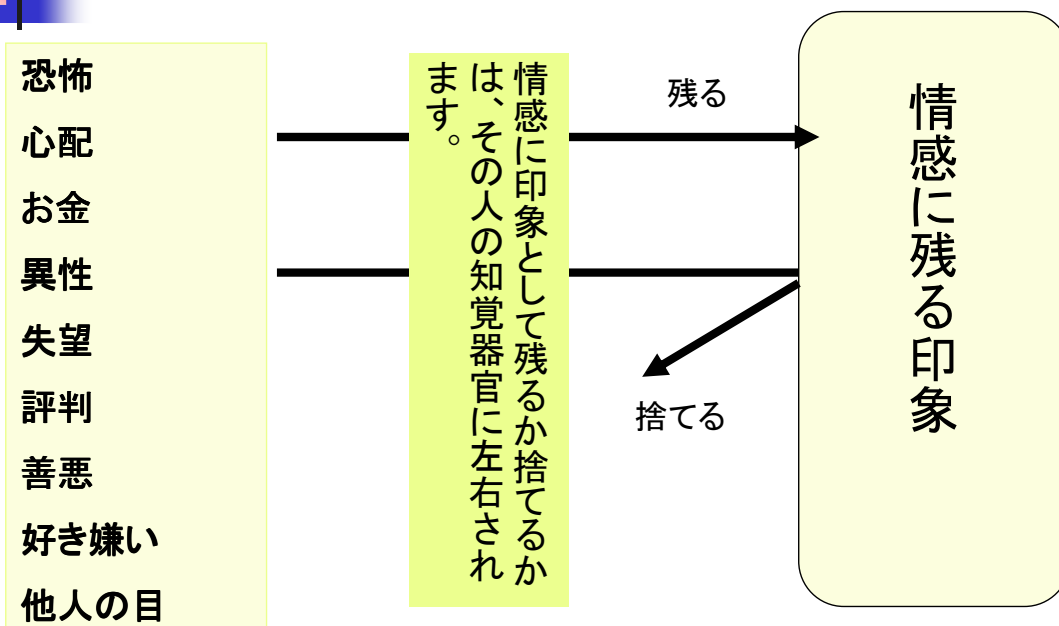
知的な喜びは、魂と融合した喜び。

→自分の存在価値が分かるので、その喜びは継続性があり、不動である。そして、絶対的な安心感が生まれる。

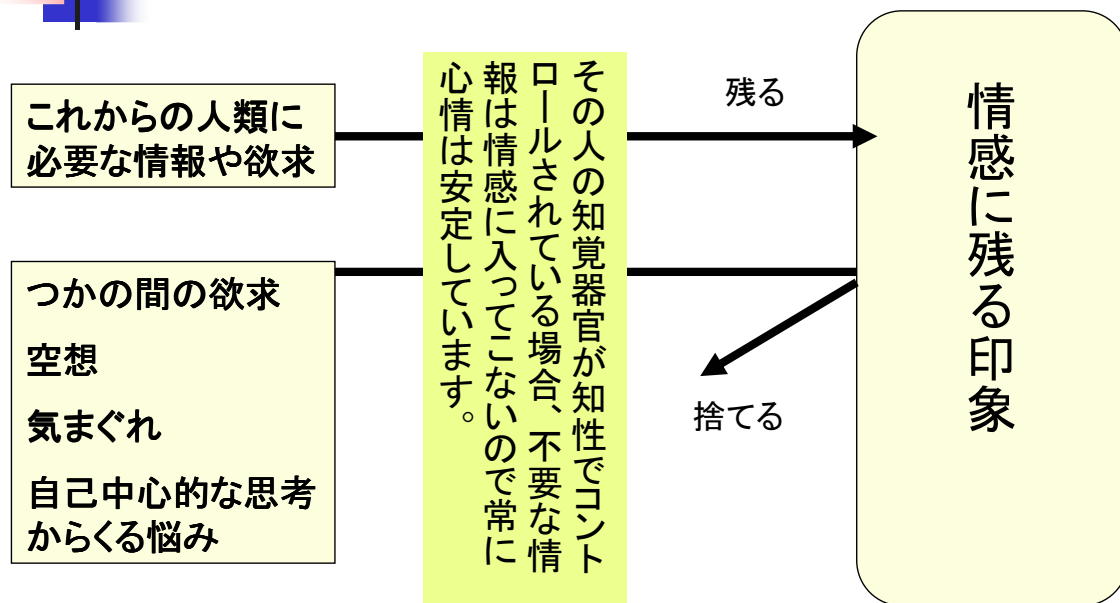
肉体の喜びが楽しい

→一時的な快楽、継続性はないため、常に刺激を求め、刺激は強くなる一方であるが、安心感は一時的であり、不安定なものである。

ほとんどの人が情感レベルの悩みをもっている

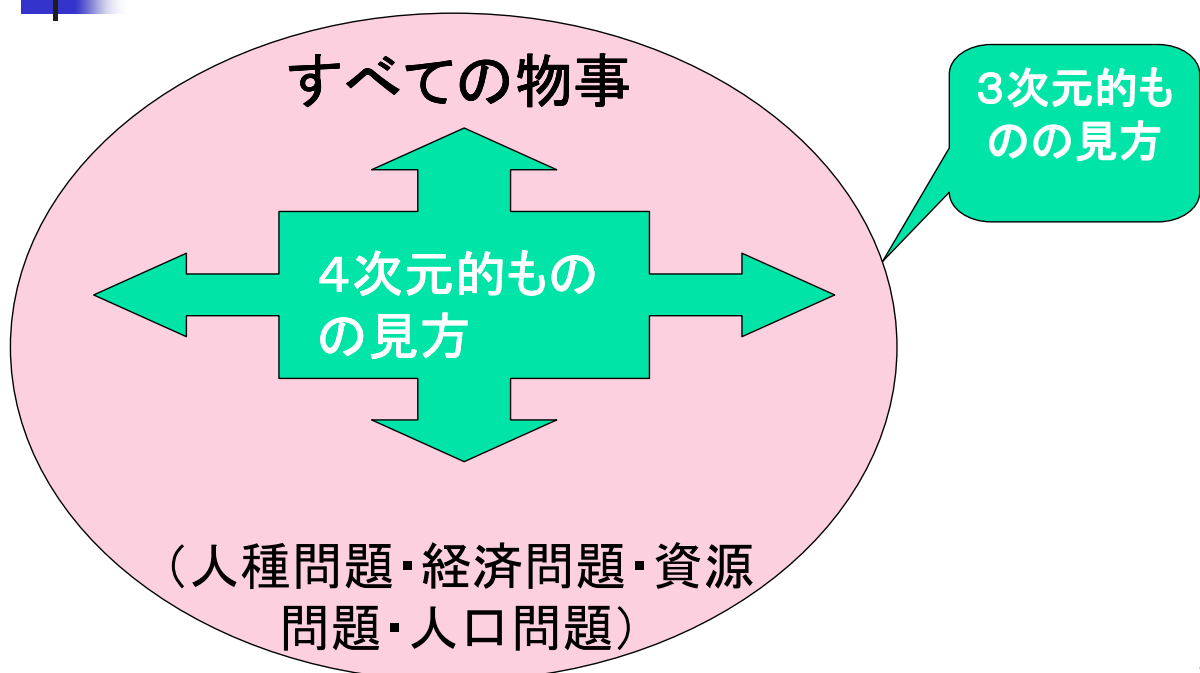


知性が情感をコントロールできた場合一時的なものは捨てることができる



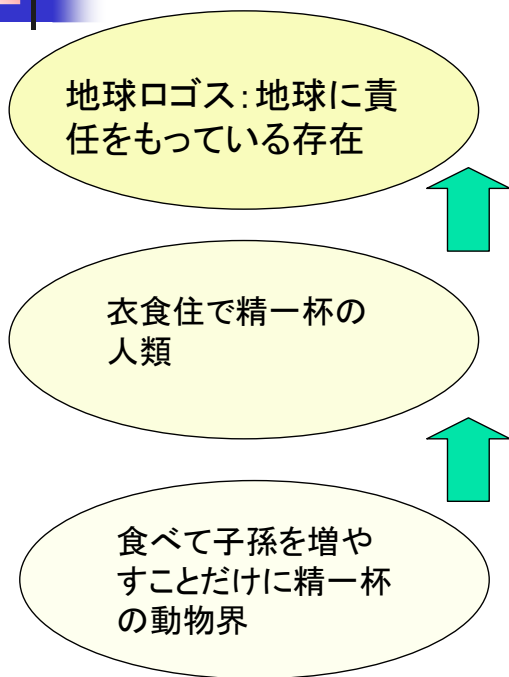
13

直観的なものの見方とは？



14

人類と進化と動物界の進化



ペットブーム・環境意識

人は地球という大きな生命体のために生きたいという欲求に**進化**した。

動物も人類という大きな生命体のために生きたいという欲求に**進化**する。

15

休憩

次は占いの本当の使い方

16

どの星がどの程度発動しているのかを、鑑定することが本当の占い

- 人を診断する場合に、占いという**道具**を使いますが、黙って座ればピタリと当たるというオカルト的な占いは本来の占いの使い方ではありません。占いビジネスでは、**靈感のある占い師**が重宝されますが、だからといって、それで**開運**まで指導することはできません。
- その人と会話をし、言動を観察する過程で、**どの星がどの程度発動しているのか**を鑑定し、**成長の段階を正確に示す**のが占いの本来の使い方です。本来目指すべき目標が明確になれば、人は計画的に人生を歩めます。
- 物質的な思考の人なのか、霊的思考の人なのか？ 魂と知性と情感が整理整頓されている人なのか、混乱している人なのか？ 混乱しているなら、原因はどこなのか？を推測する道具として占いを使います。多くの場合、**家庭内で教育(家学)**をしっかりと受けていない場合に、**混乱を整理**することができないまま、大人になっています。

17

当たりやすい占いから使う

- 生まれた時間が分かる人には、**紫微斗数推命**を使います。心の奥底にある心理状態を診断できます。
- 生まれた時刻が不明の人の場合は、**宿曜経**を使います。
- 四柱推命の日干の十二支を見ます。
- この紫微斗数推命と宿曜経は、肉体に近い部分、つまり本能的なものを見る占いですから、当たりやすい占いです。
- もし、実際の人物を観察して特徴が出ていないとすれば、意図的に本性を隠しているか、本性を自分自身で抑制し、間違った信念や法則の下で生活をせざるを得ない人と診断します。サラリーマンが、リストラを恐れるあまり、個性を殺して15年経過すると、このような状態になります。

18



3段階の星の解釈の仕方(紫微星)

- すべての占術上の星には、**成熟**した星の姿、**成長途中**の星の姿、**未成熟**な星の姿、この3段階があるということを、常に理解して鑑定しなければなりません。
- たとえば、紫微斗数推命では紫微星が最高の星といわれますが、命宮に紫微星が入っていれば無条件に良いという鑑定の仕方では、実用では使えません。
- 成熟した紫微星なら、高貴な考えを持ち人をいたわる優しさもある、未成熟な紫微星なら、プライドばかり高くて鼻持ちならないヤツとなり、成長途中であれば、その両方が発動していて、不正やずるさのない清潔感のある人だが、冷たい感じもするというようになります。

19



3段階の星の解釈の仕方(昴星)

- 宿曜経の**昴星**が成熟していれば、神の代理星といわれるように、弁舌がたくみで、理想を実現していく言動に自然と人気が集まり人徳がある人となります。
- 昴星が未成熟だと、志は一級品だが、理想や要求だけが先走り、実際は実力不足で何も出来ずにいる人となります。
- 昴星が成熟途中だと、話が長くメリハリに欠けるが、善なる心と博愛精神の持ち主で平和を愛する人となります。
- 成熟した状態で星が発動しているということは、**魂と知性と情感が整理整頓**されているということです。この場合は、占星学などで魂の特徴を診断することができます。未成熟の状態では星が発動しているということは、**魂と知性と情感が整理整頓されていない**ということです。占星学で無理に診断する必要はありません。

20



次に四柱推命を使う

- **十干**は精神面をみます。**十二支**は肉体に近い本能面をみます。**通変星**は価値観を示しますからどんなことに情感が刺激されるのかをみます。**十二運星**は、十干と十二支から構成される星なので行動特性をみます。
- 通変星には天干に並ぶものと地支に並ぶものがありますが、どちらが発動しているかを見ます。**天干**が発動していれば、霊的な価値観を重視する思考の人で、**地支**が発動していれば本能的なものを重視する思考の人だと判断します。
- 天干と地支のどちらを見るのが正解か？という正解探しはしません。どちらの星がより強く発動しているのか？を見ます。

21

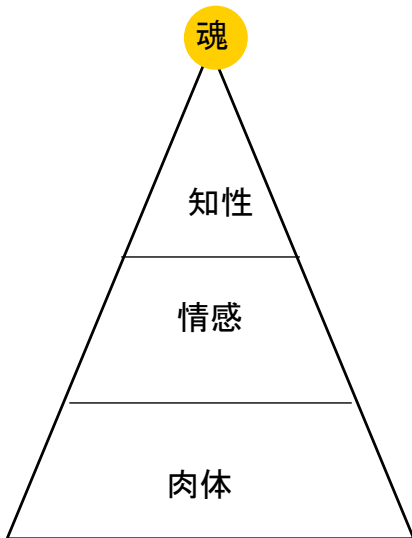


占星学を使う (支配惑星と支配星座)

- 惑星のアスペクト数が一番多いものを、その人の**支配惑星**とします。支配惑星は魂の特徴を意味し、どんな特徴のある生涯を送るのかを示します。表面からの観察ではなかなか分からないことが多いものです。
- 生まれた時刻が不明の場合、アスペクトが不正確になり、支配惑星が異なってくる場合がありますので注意してください。
- 星が集中している星座をその人の**支配星座**とします。4つ以上集中していれば、顕著に特徴がでます。3つの場合は、それほどでもありません。2つの場合は、ほとんど特徴らしきものはありません。

22

惑星の総合理解



- 惑星は魂の特徴をみるわけですが、大きく3分類すると理解しやすいでしょう。
- 成熟した冥王星・木星・金星・水星は知性的です。冥王星は破壊と創造による支配。木星は愛情。金星は正確な知識・水星は伝達能力です。
- 成熟した火星・海王星は情感的です。火星は献身的情熱。海王星は理想です。
- 成熟した土星と天王星は肉体的で物質的です。土星は経済活動で、天王星は地上の秩序とルールです。
- いづれも成熟した状態の作用です。

23

さらに視野を広めてみよう

- **冥王星**の支配欲求は、イギリスの植民地支配に見られます。植民地の優秀な人材をイギリスに留学させ教育し、その考え方に染まった現地の人材で、国を治めさせるという一流のやり方です。
- **海王星**の理想主義をおいかける欲求はアメリカに見られます。イギリスから独立して自由を求めた建国の経緯。さらに正しいかどうかは別として、あらゆる理想とされる思想の実験の場になっているのはアメリカです。グローバリズムもその実験の1つです。
- **太陽**の愛情と**木星**の人なつっこさは、フィリピンやタイなどの日本人男性に人気の国に見られます。
- **金星**の正確な知識への欲求は、ドイツに見られます。とことん合理的で無駄のない設計はドイツが優れています。

24



休憩

次は事例をあげて説明

25



イチローの事例 (天干が良く発動している)

辛	壬 (傷官)	癸 (食神)
卯	戌 (印綬)	丑 (偏印)
胎	衰	墓

※十二運星は陰陽同一式

・十干は辛で、繊細で鋭敏な職人的気質を示していますが、良く発動しています。

・行動様式は胎です。胎は独自性を示しますから、良く発動していると判断します。イチローの振り子打法は独自性そのものです。

・通変星ですが、地支には印星が並んでいます。印星は愉快的な人気星で修行僧的な資質はありません。天干をみると食傷星が並んでいます。食傷は、こだわり、技術の追求を意味しますから、明らかに地支よりも天干が発動していると判断します。

26



傷官と食神の並びの場合の星の成熟度(イチロー)

- 未成熟の場合は、上司の指示していない内容ややらなくても良いことを、自分勝手にやって反省もない。となります。
- 成長途上の場合は、人よりも目立っていたいために努力をするが、ピントがずれている場合がある。となります。
- 成熟した場合は、才能を発揮していないと、生きている気がしないので、無理にでも結果を出す。となります。
- このように見てくると、イチローの場合は、**通変星は成熟した状態で発動**していることが分かります。
- 星が成熟しているということは、魂と知性と情感が整理整頓されていて、迷いがなく、自分の天命に従って生きていけるということを示しています。成功者に多いパターンです。

27



紫微斗数推命と宿曜経の事例(ある女性経営者)

- 命宮に武曲・羊刃星、官禄宮に紫微星・天府星、財帛宮に廉貞星が入っているある女性経営者がいました。
- 大手電機メーカーの顧問を務めていましたが、独立して銀座に結婚相談所を開きました。しかし、3年で倒産してしまいました。
- 自分で独立したいという気持ちは、命宮の武曲・羊刃星が発動した結果です。お金を稼ぎたいという気持ちは財帛宮の廉貞星が発動した結果です。顧問という補佐的な職業は、官禄宮の紫微星・天府星が発動した結果です。いづれも、良く発動しているといえます。
- 宿曜経は、張宿ですから、人と張り合うことで生き甲斐を感じるという欲求がありますが、これも良く発動しているといえます。
- 良く発動はしているものの、星は成熟途中の段階でした。

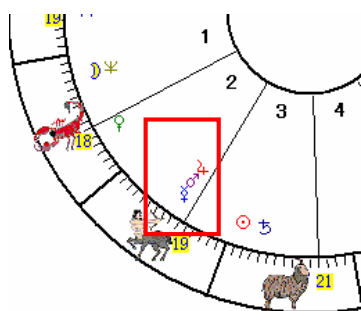
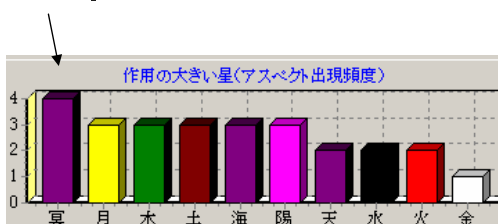
28

星の成熟度という観点から「張宿」を診断してみる (ある女性経営者)

- 未成熟な段階では、自分が優位に立つためには、ウソをつくなど手段を選ばないので、人望がない。
- 成熟した段階では、主役は譲れないが、人の長所と短所をうまく使いこなし、勢力を広げていく。
- 成長途中の段階では、大げさでハッターが多いが、天性の活きの良さで有力者の目に留まって用いられる。
- というようになりますが、ハッターばかりで、言動の信頼性に乏しく、顧客からの信頼が得られなかったことが、倒産のもっとも大きな原因だったように思います。つまり、未成熟な状態で星が発動していました。
- ○○の星が入っているから成功した。○○の星が入っているから失敗したという鑑定では実用では使いません。**星の成熟度**を観察することで、実用的な占いになります。

29

占星学の事例



生まれた時刻が正確に分かっている、筆者(フォーチュンソフトの代表)を事例に解説してみましよう。ソフトは星平会海プロ版使用。

・支配惑星は冥王星です。冥王星は、破壊と創造を示します。既存の古い、いにしへの運命学を卒業し新しい時代に適合した理論を提供しようとしている生き方は、冥王星そのものですから、冥王星は良く発動しているといえます。

・支配星座は、水星・火星・木星が集合している射手座になります。今の実績よりも遠い10年先を見据えた商品開発とその計画性は、射手座のものですから、良く発動しているといえます。

30



冥王星の成熟度

- 未成熟の場合は、どんどんと物事を成し遂げていこうとする気持ちはあるが、動機が自己中心なので周囲から反発されるだけ。となります。
- 成長途中の場合は、今までの古い体制を徹底して破壊したいと欲求が強いが、具体的に再建するという実力が伴わず不満が多い。となります。
- 成熟した場合は、古いものを破壊して新しい文明を創造したい欲求が強く、それを具体的にやっていく実力とカリスマ性がある。となります。
- さて、筆者がどの段階にあるのかは、社会の評価にまかせることにします。

31



射手座の成熟度

- 未成熟の場合は、何かを追い求めているかと思えばすぐに飽きてしまい、別なものを追いかけていく、となります。
- 成長途上の場合は、他人からの干渉を嫌い、自由と独立を求めて積極果敢にやっていくが、方向転換が出来ずに時に失敗に終わる、となります。
- 成熟した場合は、寛容で正直で優雅でありながら行動力があり、柔軟姿勢で挑戦し、最後までリスクを犯して成し遂げていく、となります。
- これも、筆者がどの段階にあるのかは、社会の評価にまかせることにします。

32

占いは個性を限定することではない

- ここまでくると、古典的な鑑定の方法ではなく、新しい時代に求められる鑑定の方法が分かってきたと思います。
- しかし、占いは**個性を限定する道具ではない**ということを知っておく必要があります。星の一覧表をみて、この人はこれというように限定をするための道具ではありません。
- 個性を限定してしまうと、その星が発動してしまえば、その人の発達段階は完了となりますが、人の進化には限界がありません。
- 占いで示される個性を使って、ある程度の成功を勝ち取るのは当然だという認識をもってください。そして、その次の段階では、占いで示されていない個性を獲得することがさらなる成功につながるということになります。業界のリーダー、革命的なことを成し遂げる人は、自分の**個性を越えて活動**している例が多くみられます。

33

個性を限定しないとはどういうことか？

辛	壬 <small>(傷官)</small>	癸 <small>(食神)</small>
卯	戌 <small>(印綬)</small>	丑 <small>(偏印)</small>
胎	衰	墓

イチローの事例ですが、通変星をみると傷官と食神が天干に並び才能発揮に価値を見いだすと判断できますが、それに限定してはいけません。チームの一員として監督に使われているということは、官星の作用が後天的に訓練され習得されつつあるからです。将来もし、コーチや監督として才覚を発揮するのであれば、それは先天的な能力ではなく、後天的に習得した能力だと判断できます。

日柱の天干は当人の精神を意味し、辛です。辛だから、職人氣質ということだけで限定してはいけません。

命式をみると、壬と癸があり、壬は勝負、癸は保守を意味しますから、そういう気質もあると判断します。また、命式にはない、甲、乙、丙、丁、戊、己、庚の気質も、それぞれの気質の人と交流することによって、**後天的**に習得できるわけです。

34



最終的に人が成熟するとどうなるか？

- 四柱推命の星を使って説明すると、人は成熟すると、すべての十干の精神を習得できる。すべての通変星の価値観を習得できる。すべての十二運星の行動様式を習得できます。その結果、**どんなタイプの人**とでも、さらさらとした人間関係を構築でき、好きとか嫌いといった情感で人を判断しない博愛精神を習得できます。
- だれでも、こういった成熟した人格(**全人格**と言います)を持つことができる可能性があります。
- すべての人は、進化できる可能性があるという観点から、人をあたたかい気持ちで診断する必要があります。

35



休憩

次は古典的な技法の背景を知る

36

四柱推命の格局用神法

- 格局用神法では、五行の木火土金水のそれぞれの強さを求め、さらに**喜ぶ神**と**忌む神**を求めます。
- その結果、強くて喜ぶ神、強くて忌む神、弱くて喜ぶ神、弱くて忌む神という大きく分けて4種類に星の状態を決定します。
- **強くて喜ぶ神**は、長所が出る。**強くて忌む神**は欠点が出る。**弱くて喜ぶ神**と**弱くて忌む神**は長所も欠点もでにくいと解釈します。
- つまり、星の状態を3段階に分けることが格局用神法の目標であるわけです。

37

事例で格局用神法を復習

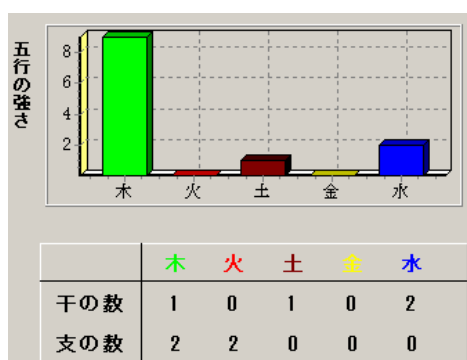
乙○	戊	壬○	壬○
卯	戌	寅	寅

- ・木が著しく強いので従殺格と判断します。
- ・木を強める、乙と壬は喜ぶ神になります。
- ・乙は最強なので強い。
- ・壬は最強ではないが、2番目に強い。

この結果、壬の偏財は、強くて喜ぶ神なので、長所が出ます。偏財は、商売上手でビジネスセンスがあると判断します。

乙の正官は、強くて喜ぶ神なので、長所が出ます。正官は、チームワークを和するのが得意で、実力者からかわいがられて出世すると判断します。このように、星の輝き方を判定するのが、**格局用神法**でしたね。

しかし、こんな理屈で計算しても、**実際はそうではないことも多いものです。**



38

事例で紫微斗数推命を復習

天府星(科) 天存星	命宮
42才 2003年 1965~1974年 旧暦10月 亥	
文曲星 文昌星 天喜星	財帛
46才 2007年 2005~2014年 旧暦6月 未	
天相星 天鉞星 天耗星	官祿
38才 1999年 2045~2054年 旧暦2月 卯	

ある女性の心理カウンセラーの事例です。

紫微斗数推命では、星の輝きは 廟—旺—失—陷 で現されます。廟がもっとも輝きが大きく、陷が輝きが小さいとされています。星平会海プロ版では、左図のように色でそれがわかるようになっています。

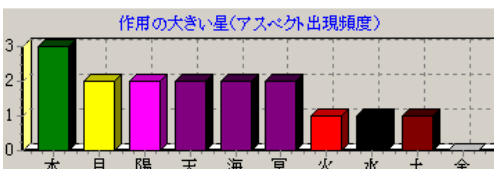
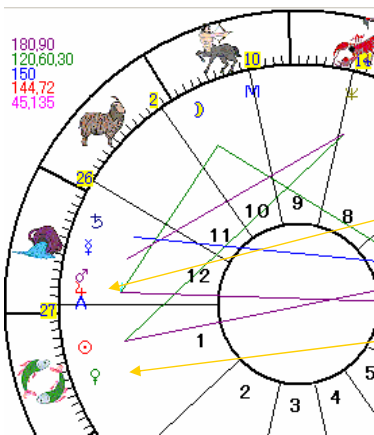
命宮に天府星が旺の状態に入っていますから、この場合は、やさしい人で、それが良く発動していると判断します。

財帛宮に文曲・文昌星が旺の状態に入っていますから、この場合は、お金の稼ぎ方は穏やかで、それが良く発動していると判断します。

官祿宮に天相星が失で入っていますから、この場合は、服务能力があり、上司から使いやすいと思われる性質で、それは多少発動していると判断します。

このように、星の輝き方は一応見ますが、あまり**実用的ではありません**。

事例でホロスコープを復習



ある女性の心理カウンセラーの事例です。

どの惑星が一番強く作用しているかは、どの惑星が一番**アスペクト**しているか？という計算で求めることができます。

この場合は、**木星**が最強で、**金星**が最弱です。つまり、木星の社交性と愛情が強く、この女性の魂を特徴づけています。いっぽうで、金星は正確な科学的知識を意味しますので、科学には弱いと判断します。

また、星座は星が一番集合している水瓶座が支配星座です。土星・水星・火星・木星が集合しています。水瓶座は、幻想とロマンを司りますから、魂の特徴は、幻想的で現実の世界には関心があまりないと判断します。

アスペクト数で星の輝き度を求め、星の集合度で星座の輝き度を求めています。



3段階の星の解釈のまとめ

- 四柱推命では、強弱と吉凶という観点から、星の意味の精度を出す理論でした。紫微斗数推命では廟旺失陷という理論で星の意味の精度を出す理論でした。ホロスコープでは魂を特徴づける惑星は、アスペクト数で算出するという理論でした。
- いずれも、星の作用の仕方が**多岐**にわたるということを前提に組み立てられています。この星がどこそこに入っているから凶であるという単純な仕組みはありません。
- 実際の鑑定では、その人を観察して、星の成熟度の度合いを3段階で測定するのが最も**合理的**な方法です。ここで、要求されるのは、鑑定者自身が、未成熟な段階から脱出し成長し、成熟した段階にまで進化しているということです。
- 未成熟な状態にいる人は、成熟した状態を知らないので、他人を正確に診断することはできません。

41



休憩

次は全体知識の大切さ

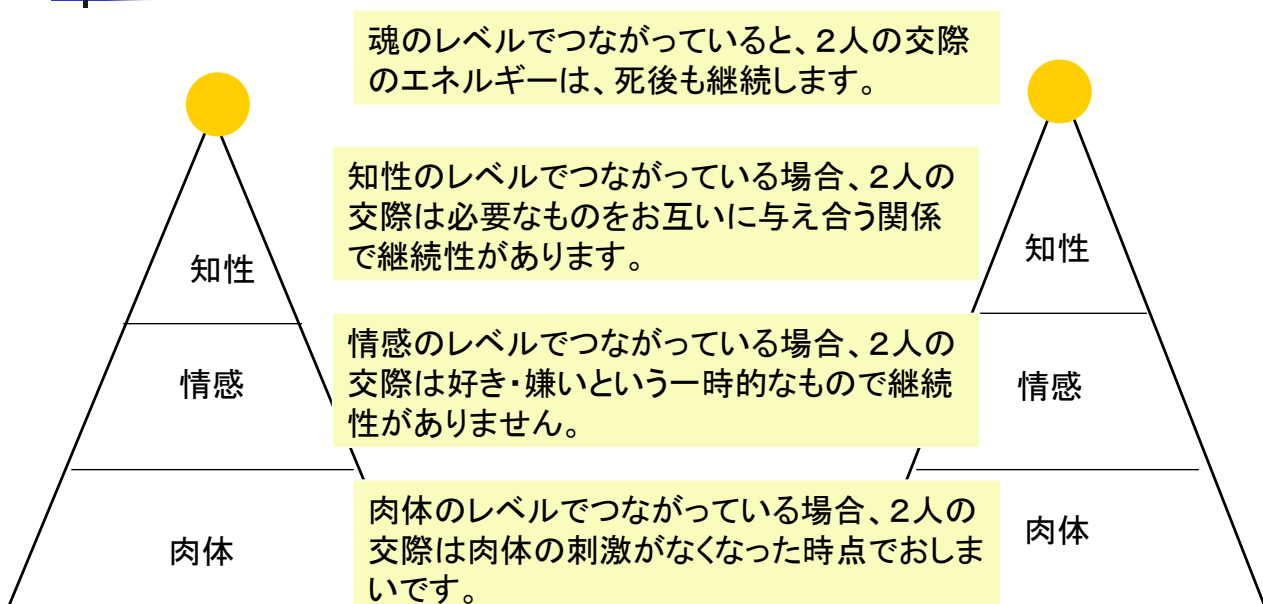
42

全体知識から自分に必要なものを抽出していくことが大切

- 四柱推命の星、紫微斗数推命の星、宿曜経の星、占星学の星と星座を見てきましたが、これらの全体の知識を使って人を診断することが星平会海という占術のもっとも重要なところですよ。
- 自分の得意な分野の占術だけを使って診断するのでは星平会海とはいえません。
- 実際の人物を20人くらい診断することでほとんどの星の意味は、理解できるはずですよ。たとえば、甲という星の意味を覚える場合は、この講座の甲の説明の文字を暗記するのではなく、日干が甲の人の顔が2~3人浮かんでくるようにすることが上達の秘訣ですよ。
- 企業経営者で実際に運命学を使っている人は、「日干が乙の新入社員の男性は、うちの中年の女性パートにもてて困る」といった分析をしています。こうなると、社員採用にも使えてくる運命学になるわけですよ。

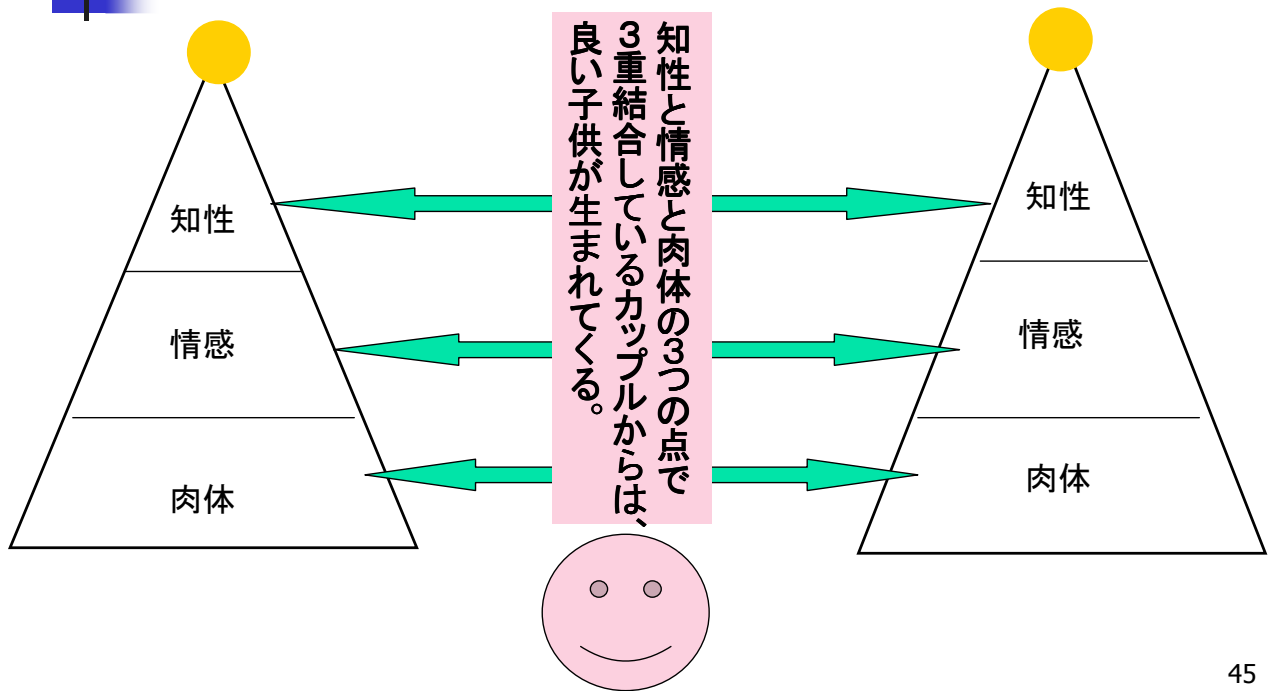
43

相性診断も全体知識から



44

良い子供を産むための相性とは？3重結合しているカップル



45

知性でつながっているときに使える相性の十干の法則

- **甲**は、プライドが高く社会的な権威に関心を持つので、そんな形を無視する**己**が必要である。
- **乙**は、穏やかだが決断力がなく迷いがちなので、強引にものごとを進めていく**庚**が必要である。
- **丙**は、舞台上で華やかなことをやってみたい欲求があるので、陰で支えるのが得意な**辛**が必要である。
- **丁**は、正義感が強いがここ一番という勝負どころでくじけがちなので、勝負に強い**壬**が必要である。
- **戊**は、感情を表に出して人の和をつくるのが得意だが、感情で動きやすいので、冷静な**癸**が必要である。

46

知性でつながっているときに使える相性の惑星の法則

- **冥王星**は、支配欲が強いので、調和を司る**水星**や**月**が必要である。
- **木星**や**太陽**は愛情を人に注ぐので、その活動を具体的に経済面からパワーアップしてくれる**土星**が必要である。
- **土星**は毎日経済活動で忙しくしているので、調和を保つ**水星**または、理想を追求する**海王星**が必要である。
- **水星**は調和を司るがパワーが不足するので、**太陽**や**冥王星**の強さが必要である。
- **金星**は正確な知識を司るが、その知識を理想に使う**海王星**が必要である。
- **海王星**は理想をおいかけるが、支配力がないので、**冥王星**の支配パワーを必要とする。
- **天王星**は秩序を重視するが、偏屈なので、**月**の情感の豊かさを必要とする。

47

肉体と情感でつながっている相性は十二支でみる

- 日支が丑の人と、日支が子の人。
 - 日支が亥の人と、日支が寅の人。
 - 日支が戌の人と、日支が卯の人。
 - 日支が酉の人と、日支が辰の人。
 - 日支が申の人と、日支が巳の人。
 - 日支が未の人と、日支が午の人。
- 以上が支合の関係といいますが、肉体や情感レベルではくっつきやすい相性です。
- ここでいうくっつきやすい関係というのは、性的なこと限定しているわけではありません。隣の机に座って仕事をした場合でも、あまり、隣の人の言動が気にならない心地よさという関係を示します。

48



休憩

次のDVDに交換してください。

49



奥義 星平会海入門 2

四柱推命・宿曜経・占星学の星の解釈の仕方を学びます。

50



四柱推命 精神を示す十干

- **甲**(未成熟－成長途中－成熟の順番)
 - 実力がともなわないのに理屈を通さないと気がすまない気難しい雰囲気。
 - プランを練ることが好きで哲学的な思索性に優れるが、行動力は普通。
 - まっすぐな姿勢で生きているので周囲から自然とリーダーに推薦される。
- **乙**(未成熟－成長途中－成熟の順番)
 - 自分の意志を持つことができず、常にだれかの保護の下でいたいという甘え。
 - 活字をおいかけることが好きで、気配りができるが、依頼心がある。
 - 周囲をリラックスした状態に感化し、敵をつくらずに目的を達成していく。
- **丙**(未成熟－成長途中－成熟の順番)
 - 言うこととやることが定期的に変化して、目標がどこにあるのか不明である。
 - 心に邪がなく、やりだしたら徹底してやるが周囲のことは目にはいらない。
 - 集中力が抜群にあって、だれも真似できない粘りを発揮して新分野を開拓していく。
- **丁**(未成熟－成長途中－成熟の順番)
 - 丁寧だが、緊張するのが好きではなく、常にゆるゆるとした生活を望んでいる。
 - 自分を慕ってくる人に対しては、どこまでも面倒味が良い。
 - 自分が正義だと思ったことに関しては、徹底してそれを曲げることはしない。

51



四柱推命 精神を示す十干

- **戊**(未成熟－成長途中－成熟の順番)
 - 人の話を理論的に理解できず、頑固に自分の感覚で理解した範囲だけでやろうとする。
 - その場の雰囲気を読み、相手に自分を合わせていき全体を和合させていくのが得意。
 - 感受性が豊かで自分が信じる人のために全てを投げ打って尽くすことができる。
- **己**
 - 感情にふりまわされてヒステリック気味になることが多いが、叱ると頑張る。
 - 感情的な好き嫌いという部分で決断するので、思いこみが激しいが、努力家。
 - 誰かから必要とされているという分野があれば、それに専心して人脈を作っていく。
- **庚**
 - 人の指示を聞こうという耳を持たず、自分の得だけを優先する。
 - どちらが損か得かを冷静に考えて決断し、決めたら即行動し、常識は無関係。
 - 大胆な行動力と素早い決断力で冷静に利益を追いかけ、論理よりも実際を優先する。
- **辛**
 - 人からの評価を気にして細かいことにこだわるが、大局が見えていない。
 - 仕事を離れた世界で持ち前の感性とこだわりを活かして素晴らしい活躍をする。
 - お金を追いかけるのではなく、一途に目に見えない大切なものを探求する。

52



四柱推命 精神を示す十干

- **壬**(未成熟—成長途中—成熟の順番)
 - 人の言うことを素直に聞かず、事を荒立ててまで自分勝手にやる。
 - 勝ち負けにこだわり、真剣に目標を達成していくが独裁的である。
 - 自分が正しいと思う信念をつらぬくためなら命をかけてやることができる。
- **癸**
 - 表面上はニコニコしているが、敵なのか味方なのか分かりにくい性格。
 - 平和主義者でむやみに事を荒立てず、知的好奇心が旺盛でよく勉強する。
 - 人は皆平等に幸せになるべきだという信念があり、そのために独創性を発揮する。

53



四柱推命 肉体を示す十二支

- **子**(未成熟—成長途中—成熟の順番)
 - お金を使うことが苦痛で、使うべき必要なことにも使えない。
 - 物腰が柔らかく、だれに対しても柔らかく接していくことができる。
 - 自分よりも人のために一生懸命になって働く。
- **丑**
 - 何をやるにしても、スピード感がなく物事が成就しにくい。
 - 自分の意志と考えが固く、それに合わないとき怒り出す。
 - 新しいものに関心があり、どんどん習得しようとする。
- **寅**
 - ワンマンで威張り屋で自分の言う通りに物事が進まないとき我慢できない。
 - 毅然とした態度で物事に対処し、人に甘えることがない。
 - 正義感が強く、これまでのやり方が間違いだと気がついたら大転換をする。
- **卯**
 - 言うことは立派だが、やりっぱなしで最後まで完遂することが少ない。
 - 奥ゆかしく振る舞うことはできるが、強い意志で押し通す強さはない。
 - 極めて大きな野望をもっており、夢を大きく語りながら周囲を巻き込んでいく。

54



四柱推命 肉体を示す十二支

- 辰(未成熟ー成長途中ー成熟の順番)
- 人からの評価が気になり、自分と人を比較して優れていると安心する。
- 周囲の反対を無視して自分のやりたいようにやっていく破壊性がある。
- 失敗しても恐れずに夢に向かってどんどん人生を開拓していく勇気がある。
- 巳
- 荒々しい言動はないが、人を見下したり傷ける言葉を平気で言う。
- 自分の本心に正直に生きていくため、人から誤解を受けることがある。
- 困っている人を見れば深く同情し、奉仕的に援助をしてしまう。
- 午
- 実力以上のことを言うので、大きなことを言うわりにはたいしたことがないと思われる。
- 周囲に影響を与えながら、どんどんと物事を前へ前へと進めていく。
- ウソや偽りを見抜く直感が働き、世の中を変えていこうとする意志が強い。
- 未
- ささいなことでも心配になり取り越し苦労ばかりをしていて、前に進めない。
- 新しいことに着手するときでも、準備を万端にしてからやるので、大きな失敗はない。
- 人が気がつかないような細かい点にまで気配りをすることができる。

55



四柱推命 肉体を示す十二支

- 申(未成熟ー成長途中ー成熟の順番)
- 自分よりも地位が上の立場の人に対しては、こびへつらう。
- 人よりも常に上を目指そうとして情報収集に熱心である。
- 細かいことまで気にして、正確な仕事をすることができる。
- 酉
- 自分はすごい仕事をしていると威張りたがるが、口ほどには実力が無い。
- 物欲があまりなく、精神的に高度なものに対し強い関心があるが、継続性がない。
- 人が真似できないような企画力をもっていて、それを支持する人脈にも恵まれる。
- 戌
- 実力もないのに意地だけは張り通すので、アドバイスしても効果がない。
- 自分の考えや理念をどこまでも押し通す頑固さがあるが、柔軟性はない。
- 自分が気に入った人に対しては、真心を尽くしてつきあおうとする。
- 亥
- 独断専行してやっちゃって、あとから振り返ると失敗だらけである。
- 弱い立場の人を支援し、強い立場の人を非難するリーダー的な言動をする。
- 世の中を変えていくために自分ができることは万難を排してやろうとする。

56



四柱推命 行動様式を示す十二運星

- **胎**(未成熟—成長途中—成熟の順番)
 - 束縛された環境やマニュアル労働には反発して、飛び出そうとするが飛び出せない。
 - 思っていることをズバズバ言うが、その内容は人真似ではなく独自性があり自立している。
 - だれもやった事のない分野を独自の力で開拓していく、パオイニア精神がある。
- **養**
 - 癖のない性格に見えるが、人に甘えることが多く、面倒なことをやらないですまそうとする。
 - 人間関係を穏やかにつくっていき人脈が豊富にできるが、八方美人的になりやすい。
 - 激しい環境の変化にも順応できる学習能力があり、周囲に安心を与える。
- **長生**
 - その場の雰囲気のにりやすく、あわててやってみて、あとで後悔することが多い。
 - 合理的な判断をして、表面的にだけ帳尻をあわせることができる器用さがある。
 - 知識を吸収する意欲が旺盛で、それを世の中に提供することに喜びを感じる。
- **沐浴**
 - だらしない服装をしていて、落ち着きがなく、言うことが毎日変わる。
 - 次々と新しいことに関心をもってやるが、飽きっぽくて長続きしない。
 - アイデアが豊富で、周囲が驚くような企画を立案するが、方針の転換も早い。

57



四柱推命 行動様式を示す十二運星

- **冠帯**(未成熟—成長途中—成熟の順番)
 - 見栄っ張りでカッコをつけたいので、できないとは言いたくない。
 - 身だしなみが良く、地味な仕事には関心を持たず派手な仕事に関心がいく。
 - スマートな態度で品がよく、無駄なく一流の仕事を進めていく。
- **建禄**
 - 他人と協調して仕事を進めることができないほど、こだわりが強い。
 - やると言ったことは100%責任をもって遂行するが、やり方は自分流。
 - 他人に甘えたりすることがなく、どこまでも自立して生きていこうとする。
- **帝旺**
 - 頭の回転が鈍くぼんやりとしか物事を理解できず、仕事の正確さに欠ける。
 - 何かに夢中になってしまうと、全てを忘れて熱中する純粹さがある。
 - 長い目で世の中の変化をとらえ、周囲を正しい道に引っ張っていく技量がある。
- **衰**
 - 大胆に物事を判断することができず、話していても面白みがない。
 - 新しい考え方をすぐに採用する勇気に欠けるが、淡々としていてミスをしない。
 - 今までの経験を重視し、一步一步着実に物事を進めていき最後は大成する。

58



四柱推命 行動様式を示す十二運星

- **病** (未成熟—成長途中—成熟の順番)
- 細かいことが沢山気になって、方針が一定せずに心配ばかりしている。
- 自分の考えを押し出すことが少なく、人当たりは良いが、直感的に人を判断する。
- 備えあれば憂いなしで、将来に備えていつも今を生きることに熱心である。
- **死**
- 頭で創意工夫をする必要がなく、あまり考えない仕事のほうが向いている。
- 真面目にコツコツとやっていくが、環境の変化に合わせていく臨機応変さが無い。
- 新しいことへの着手は遅いが、コツコツと愚直に技を磨いていき、仕事は丁寧。
- **墓**
- お金を使うことが苦痛であり、自分のために投資ができず、伸び悩む。
- 流行や世の中の流れには惑わされずに、自分流の経済感覚で地道にやっていく。
- 人に教えることが得意であり、目下をかわいがることで喜びを感じる。
- **絶**
- 環境の変化や自分が尊敬する人に影響されやすく、迷いが絶えない。
- 面倒なことが嫌いなので、あきらめがよく、その分切り返しが早く、くよくよしない。
- 常に理想とロマンを追いかけていて、現実の利益には執着せず、正直である。

59



休憩

次は通変星25パターンの
星の見方

60

四柱推命 動機を示す通変星

- **比劫・比劫** (未成熟－成長途中－成熟の順番)
 - 人の言うことはまず聞かず、全てを自分流でやってしまって失敗することが多い。
 - 周囲から反対されても気にせずやり続け、結果的に大きな成果を出す。
 - 普通の人が心配してできないことを大胆にやって世の中をリードしていく。
- **比劫・食傷**
 - 言うことは理論的で立派であるが、実行力と強い責任感がともなわない。
 - 人よりも目立ちたいという欲求が強く、才能を見せびらかす傾向がある。
 - ユニークな才能を発揮し、行動力もあり、多くの人から慕われている。
- **比劫・財星**
 - 人と自分をいつも比較することで、方向性を決定するが独自性がない。
 - 負けず嫌いで、人に負けたままでいることが我慢ができない。
 - 負けず嫌いで、自分が相手を支配する立場になるまで納得しない。
- **比劫・官星**
 - 人と自分をいつも比較するが、なかなか前進ができずに悩むことが多い。
 - 人と自分をいつも比較することで、変えるべき点を幾つも発見していく。
 - 競争相手と自分をいつも比較しながら、周囲も巻き込んで革新・前進していく。

61

四柱推命 動機を示す通変星

- **比劫・印星** (未成熟－成長途中－成熟の順番)
 - なんとか楽をして成果を出そうとするが、ピントが外れていることが多い。
 - 普通でいることが苦痛であり、いつも楽しくて愉快的な生活をしたいと考えている。
 - 周囲と自分をいつも比較して、トンチの利いた知恵で常に一歩先に進む。
- **食傷・比劫**
 - 人は自分の才能を受け入れないという文句が多いが、実力はさほどでもない。
 - 人とは次元の異なる特異な才能を発揮して、競争に勝っていこうとする。
 - 世の中に奉仕するために自分の才能をフルに発揮して精力的に生きていく。
- **食傷・食傷**
 - 上司の指示していない内容ややらなくても良いことを、自分勝手にやって反省もない。
 - 人よりも目立っていたいために努力をするが、ピントがずれている場合がある。
 - 才能を発揮していないと、生きている気がしないので、無理にでも結果を出す。
- **食傷・財星**
 - 言うことは立派で素晴らしいことを言うが、実績はそれほどでもない。
 - 人よりも目立ちたいという欲求が動機となって、ビジネスを展開していく。
 - 特異な才能を発揮して、それを合理的にビジネスにしていける。

62



四柱推命 動機を示す通変星

- **食傷・官星** (未成熟－成長途中－成熟の順番)
 - 面倒見が良く上手に自分を演出していくが、だらしのない部分がある。
 - 言うことは立派で素晴らしいことを言うが、決して誇大妄想ではなく現実的である。
 - 特異な才能を発揮して、周囲を巻き込みながら組織的にビジネスを展開していく。
- **食傷・印星**
 - 口では立派なことを言い理屈もあっているが、実際的ではないので失敗する。
 - 失敗しても憎めないキャラクターだが、ピントを外した言動が多い。
 - 普通ではない企画やアイデアを上手に表現しながら周囲を扇動していく。
- **財星・比劫**
 - 自分で独自の方針を決めながらも、人の評価が気になって実行力に欠ける。
 - 周囲を観察しながら、その流れに逆らわない程度に自分を主張していく。
 - 強い決意のもとで、困難を確実に乗り越え自分が信じることを実行していく。
- **財星・食傷**
 - 口では立派なことを言い押しの強さもあるが、実績がついてこない。
 - 言葉が明確で、分かりやすく人に説明することができ、内容も現実的である。
 - ユニークで独自の才能を発揮しながら、周囲を支配・統率していく。

63



四柱推命 動機を示す通変星

- **財星・財星** (未成熟－成長途中－成熟の順番)
 - 押しが強く、人の言うことを聞かず、自分勝手に物事を進めていき反発される。
 - 言うことも行動する内容も一致しているが、周囲からの賛同は得られにくい。
 - これまでの経験から編み出した自分の信念をどこまでも押し通し成果を出す。
- **財星・官星**
 - 押しが強く自分の意見をもっているが、周囲が迷惑するような影響を与える。
 - 自分1人でやるというよりも周囲を巻き込みながら自分を主張していく。
 - 自分の考えをしっかりと持っていながらも全体の中の自分の役目を忘れない。
- **財星・印星**
 - 自分の考えをしっかりと持っているが、それが時に妄想的である。
 - 周囲を支配しようとする押しの強さがあると同時に、憎めないキャラクターもある。
 - 自分の考えをしっかりと持っていて、とくに企画やアイデアに優れている。
- **官星・比劫**
 - 自分は人よりも上だと威張る癖があるが、実力はそれほどでもない。
 - 人よりも下に見られることを嫌い、それが動機となって努力する。
 - 全体の中の自分の役目を知った上で、全体のレベルをアップさせようとする。

64



四柱推命 動機を示す通変星

- **官星・食傷**(未成熟－成長途中－成熟の順番)
 - 見た目は話が上手でやり手に見えるが、実際はそれほどでもない。
 - 自己の才能を上手にアピールすることができ、目上から用いられる。
 - 言葉が明確で自己主張がハッキリしており、常に変化を求めている。
- **官星・財星**
 - 独力で開拓していくパワーがなく、どうしても組織に依存してしまう。
 - 自分の組織での役割を良く知っており、自分の才能を組織に役たてようと努力する。
 - 強い使命感をもっていて、組織全体を良い方向に変えていこうと努力をする。
- **官星・官星**
 - 独自の力だけで困難を越えようとせずに、安易に上司に依存してしまう。
 - やり手のように振る舞い、自分の評価が下がるようなことはあえてしない。
 - 単独で押し通して孤立するのではなく、組織をうまくつって仕事をしていく。
- **官星・印星**
 - 色々なアイデアが湧いてくるが、どれも実現しないことが多い。
 - 組織を改革することが得意だが、企画やアイデアに溺れすぎることがある。
 - 独特のアイデアと企画力を実現するために、組織をつかって仕事をしていく。

65



四柱推命 動機を示す通変星

- **印星・比劫**(未成熟－成長途中－成熟の順番)
 - 面白いアイデアを沢山もっているように見えるかもしれないが、実際的ではない。
 - 言うことは大変ユニークで機知に富んでいるが、負けん気が強く勝ち急ぎ過ぎる。
 - 独特の感受性をもっていて、業界をリードするような新しいことをやっていく。
- **印星・食傷**
 - ユニークな企画やアイデアを出すようで、実際の仕事になるとそれが活かされない。
 - なんとか楽をして最大の実利を得ようとするが、目下がついてこない場合がある。
 - ユニークな企画やアイデアで周囲をリードしていくと共に、現実的な配慮も怠らない。
- **印星・財星**
 - 人とは随分異なった人生観をもっていて、妄想的に我が道を進む場合がある。
 - なんとか苦勞をせずに物事を早めになしとげたいという動機で努力をする。
 - ユニークな企画力で人とお金を集めて、夢を追いかけていく。
- **印星・官星**
 - なんとか楽をして利益を出すことができないかとアイデアを出すが発現しない。
 - 清く正しい考え方の上に編み出されたアイデアや企画を、ビジネスに活用していく。
 - 洞察力が鋭く、流行やマスメディアに惑わされることなく、大きな仕事を成し遂げていく。

66



四柱推命 動機を示す通変星

- 印星・印星
- 言葉は素晴らしい夢を語るが、やることが全て夢想的で実現することは少ない。
- 人が真似できない企画力とアイデアは素晴らしいが、実際の部分は他人に任せていく。
- 実力を10倍に見せる表現力とパワーがあり、周囲を巻き込みながら夢を実現していく。

67



休憩

次は宿曜経の星の見方

68

宿曜経 感情レベルの人柄を示す

- **昴**(未成熟－成長途中－成熟の順番)
 - 志は一級品だが、理想や要求だけが先走り、実際は実力不足で何も出来ずにいる。
 - 話が長くメリハリに欠けるが、善なる心と博愛精神の持ち主で、平和を愛する。
 - 弁舌がたくみで、理想を実現していく言動に自然と人気が集まり、人徳が増す。
- **畢**
 - 派手だが、一つのことに執着し、いつまでも同じことの繰り返しで発展性がない。
 - 口では立派なことを言うが、一步一步確実に、目的に向かって進むマイペース型である。
 - どんな障害にも屈することなく、変わらぬ目標に向かって明るく辛抱強く進んでいく。
- **觜**
 - 自分流の道德観念が強く、少しでも道を外れると、言葉による攻撃が強烈である。
 - 打算的で、したたかな面があるが、働き者で、礼儀正しく、勉強熱心である。
 - 有言実行タイプで、自分に厳しく、正論を説き、堂々たる指導者になっていく。
- **参**
 - 目立ちたがり屋で、どこにでも顔を出し騒ぎ立てるので、反感を買ってしまう。
 - 自己主張が強く独りよがりな面があるが、活動的で型にはまらない大胆さがある。
 - バイタリティにあふれ、新しいものにどんどんチャレンジして、古いものを改革してゆく。

69

宿曜経 感情レベルの人柄を示す

- **井**(未成熟－成長途中－成熟の順番)
 - 細かいことに口うるさく、何でも教科書どおりに行動し、情緒性に欠ける。
 - 自分を売り込む気迫にかけるが、勉強熱心で、常に頭を使って合理的に努力する。
 - 感情よりも理論を優先し、秀才肌で知恵も深く、謙虚に振舞って、成功する。
- **鬼**
 - 気分屋で約束を守らず、自分の好きなときに好きなことをやって節操がない。
 - ニヒルで外見を気取り格好つけるが、発想が自由で世俗に縛られない魅力がある。
 - 直感が鋭く、自由な発想と奇抜なアイデアを生かせる専門職などで成功する。
- **柳**
 - 感情的で喜怒哀楽が激しく、相手の些細な失敗も見逃さないしつこさがある。
 - アクが強く、一癖二癖あるタイプだが、向上心旺盛で負けず嫌いの頑張り屋。
 - 温厚で何があっても動ずることなく、決して妥協しない芯の強さと精神力を持つ。
- **星**
 - 実現できない大きな夢ばかり追いかけて、ふらふらした人生を送る変わり者。
 - 移り気でつかみどころの無い面があるが、不正を嫌い、正義のために組織に楯突く。
 - 人情味があり、非凡なパートナーを得ることで、常識はずれの分野で力を発揮できる。

70

宿曜経 感情レベルの人柄を示す

- **張** (未成熟—成長途中—成熟の順番)
 - 自分が優位に立つためには、ウソをつくなど手段を選ばないので、人望がない。
 - 大げさでハッタリが多いが、天性の活きの良さで有力者の目に留まって用いられる。
 - 主役は譲れないが、人の長所と短所をうまく使いこなし、勢力を広げていく。
- **翼**
 - 目先の小事や、ごたごたに囚われて大局を見失い、目的を見失いがちである。
 - 不器用で他人を信用できない面があるが、志はいつも高く正直で人から好かれる。
 - 見返りを求めず、志を高く持ち、グローバルな視点から社会的使命を悟り成功する。
- **軫**
 - 権力者の顔色をうかがって媚を売り、その庇護下で気楽な人生を送ろうとする。
 - 考えがオーソドックスで人に安心感を与え、世話好きで人のために良く働くので人気者になる。
 - 華やかな主役よりも二番手に徹し、実務力と知恵を出し、重役や参謀として活躍する。
- **角**
 - 何でも自分の方程式に当てはめて考え、好き嫌いが激しく、すぐ顔や態度にでる。
 - 変化を好まず保守的だが、器用で、細かい作業や計算などを着々と正確にこなす。
 - 職人気質で、一つの仕事に生きがいを感じ、誰よりも努力してその分野の第一人者となる。

71

宿曜経 感情レベルの人柄を示す

- **亢** (未成熟—成長途中—成熟の順番)
 - 人情に疎く、自分の正義感を他人に押し付けて、他人を審判し、常に批判的である。
 - 完全主義者を気取っているが、その分の努力は惜しまず、言動の筋道は通っている。
 - 人の失敗も許す心の余裕があり、自己の損得には関心がなく、信じた道を突き進む。
- **氏**
 - 実力はなくても、有力者や著名人を利用して、地位、名誉、財産を得ようとする。
 - 実力以上のことをやりたがるが、それなりに勤がよく、注目を浴びたり、人気を得る。
 - ポイントのつかみ方が上手で、瞬時に人の心理を見抜くので、サービス業などで活躍する。
- **房**
 - 派手好きで、人目を引くが、外見ばかりで中身がともなわない。
 - ワンマンでワガママな面はあるが、自分の好きなことには、徹底して頑張る。
 - 物覚えがよく話術が巧みで、一流の品物を好み、進んで時代の最先端を歩む。
- **心**
 - 調子が良く、八方美人で、態度や言動がその都度違い、人からの信頼を得られない。
 - 遠い将来を見る先見性には乏しいが人の心は機敏に察知するので、目先の利益には敏感。
 - 多芸多才で、愛嬌があり、いるだけで周りを楽しい気分にする明るさがある。

72

宿曜経 感情レベルの人柄を示す

- **尾**(未成熟ー成長途中ー成熟の順番)
 - 負けず嫌いで、間違いを認めなかったり、他人とすぐに張り合ったりする。
 - 視野が狭く融通が利かないが、一本気で、一つのこと徹底して打ち込む。
 - どんな環境におかれても、信念を貫き通し、命をも捨てる覚悟でやり通す。
- **箕**
 - 威張りたがり、イエスマンばかりを周りに集めて、威張っているが実行力はない。
 - 短気で事を急ぎ、暴れん坊だが、根は正直で腹に一物も無く、非利己的である。
 - 物事の本質を見極める鋭い眼力があり、昼夜を問わず働き、大きな財を成す。
- **斗**
 - 意思表示が曖昧で、だれにでも好かれようとして、責任を負うことに抵抗を持つ。
 - これといった個性は表に出ないが、話好きで交際上手なので、人に好かれる。
 - 広い知識と腰の低さが好感を呼び、多くの人の指示と協力を得て大仕事を成す。
- **女**
 - 引っ込み思案で策ばかり練り言動が一致せず考えていることの半分も行動に移せない。
 - グローバルなものの考え方は苦手だが、身近な人には親切で、愛情を注ぐ。
 - 秩序を重んじ、一人一人の良さを引き出すために、背後から人を動かす立場に立つ。

73

宿曜経 感情レベルの人柄を示す

- **虚**(未成熟ー成長途中ー成熟の順番)
 - メンツに執着し、たとえ職を失っても自分の評価を保つことに必死になる。
 - 自尊心が強く、大口をたたいてしまうが、実力と勝負強さがあり、勝ちにいく。
 - 謙虚に自分の立場をわきまえ、伸びようとしている人を陰から見守り、真のリーダーになる。
- **危**
 - 世間知らずで、気分屋なので、気に入らないと簡単にあきらめてしまう。
 - ナルシストで自己愛の強い面もあるが、勉強熱心で納得がいくまで探求する。
 - お洒落で美的感覚に優れ、芸術・美術関係や、特殊・専門分野で成功する。
- **室**
 - 自信過剰で、言うことは理屈が通っているように見えるが、思いやり欠ける。
 - 自己中心的で、高級品好みだが、多趣味で知識が豊富で、弁舌もさわやかである。
 - 若い頃に多くを経験し、苦労し、確実に実績を積み重ねて、やがて頭角を現す。
- **壁**
 - 現実的ではあるが、融通がきかず、遊びや面白みに欠ける傾向がある。
 - 強情で打算的な面があるが、話は筋が一本通っており、厳しく自分を律している。
 - 目立たなくても、自分の納得いくスタイルを押し通し、最後には勝つレースをする。

74



宿曜経 感情レベルの人柄を示す

- **奎**(未成熟ー成長途中ー成熟の順番)
 - 自分は人と違って高貴な人間だと思い込み、お高くとまって、人を見下している。
 - 苦勞するよりも楽しいことを優先するが、心は純粹で、精神世界を大切にする。
 - 趣味をやっていくうちにプロになるなど好奇心の赴くままに行動して才能を發揮する。
- **婁**
 - 神経質で細かいことが気になり、つい余計な口出しをして、敬遠されてしまう。
 - 觀察力があるので、人を批判したりするが、周囲を楽しませる親しみやすさがある。
 - ひらめきや、インスピレーションを働かせて、特定の分野のスペシャリストになる。
- **胃**
 - 平凡を嫌い、強引に物事を進めて、無理に人を従わせようとする。
 - 押しが強く、欲張りな面があるが、頼めば何でも引き受けてくれる気の良さがある。
 - 反骨精神が強く、旧体制に立ち向かっていく勇氣があり、目下の面倒を良く見る。

75



休憩

次は占星学の星の見方
生まれた時刻がわからない場合は、支配
星が設定する時刻で変わってきます。

76



占星学 星は魂の特徴を示す

- **太陽**(未成熟—成長途中—成熟の順番)
- エネルギーが強いが、そのエネルギーは人から注目されたいという利己的な欲求に向けられる。人の言うことは聞かない。
- 自分がこの世に生きている存在意義を見いだして、進化したいという欲求はあるが、実力が不足していて道半ば。
- 今の自分、今の社会に満足せず、愛と知恵をもって人類に奉仕したいという欲求があり、実現するための実力もある。

- 月は実際的には動きが早すぎるという理由から支配星には採用しません。また月は太古より死星といわれ、霊が宿っていません。
- 気持ち的に楽をしたい。苦勞をしたくないという欲求のために、今のままで良いという思いが強い。
- 幼い頃の環境で形成されてしまった心と感情の癖を修正しようとしてさんざん苦勞している。
- ネガティブな発想をしがちだったが、苦勞の末にポジティブで落ち着いた生活ができるようになった。

77



占星学 星は魂の特徴を示す

- **水星**(未成熟—成長途中—成熟の順番)
- 最先端の情報や世の中の動きの変化に敏感だが、それを知らなければならぬという欲求が強い。
- 知的で情報収集能力に優れ、言語や文章による他人との伝達能力に優れるが、一方的になりやすい。
- いろいろなものに挑戦して、さんざん葛藤したあげくのはてに、芸術的で調和された感性を勝ち取る。

- **金星**
- とにかく、欲望のままに行動する。しかし、狭い視点に立った一時的な知識欲と物質欲に振り回されているだけ。
- 美しい人を見ると獲得したくなる欲求が強い。五感の快樂を求めために熱心に仕事をするが大変なことは嫌う。
- 芸術的な感性を持ち、正確で科学的な知識を求める知識欲が強く、新しいことを発明していく。

78



占星学 星は魂の特徴を示す

- **火星**(未成熟—成長途中—成熟の順番)
- 自分が理想とする主義やものに固執し、それをいつまでも追いかけてしまい、軌道修正ができない。
- エネルギーが強く闘争心と情熱があり、不可能を可能にしていく様子はあるが動機は利己的で実現しないことが多い。
- 世の中が良くなるための自分の任務を知っていて、その理想に命をかけて勝利を勝ち取っていく。
- **木星**
- 人から愛されたい、評判を良くしたいという欲求があり、親和性があるように見えるが動機は自分が愛されたいだけ。
- 哲学的思考・宗教的思考ができ、真理を求めていく。楽天的だが、物事を成し遂げていく実行力はない。
- 人と人は必ず分かり合えるという信念の元、争うことをせずに人の役に立ちたいという欲求がある。

79



占星学 星は魂の特徴を示す

- **土星**(未成熟—成長途中—成熟の順番)
- 活動的に見えるかもしれないが、常に活発に活動していなければ落ち着かず、苦勞している自分に満足したいだけ。
- 常に努力と忍耐と我慢をしていて、自分は苦勞を積み重ねて、やっとここまで来たという達成感がある。
- 活動的だが、個人の方法に固執せず、常にグループの方法を優先して大きな計画を着実に成し遂げる。
- **天王星**
- 表に出ることを好まず、地下に潜んで隠れていたいという欲求がある。自分の本音を知らせたくない。
- 独創性があり、改革的であるが、今の社会や今のグループに不満をもっていただけで、行動は起こさない。
- 理性的な理念を持ち、改革的でありながら、キチンとした秩序を維持しながら改革を進めていく。

80



占星学 星は魂の特徴を示す

- **海王星**(未成熟—成長途中—成熟の順番)
- 特定のシステムや人物への夢想的なあこがれが強く、思いこんだら長い期間固執していく。単純な繰り返し作業を嫌う。
- 地球上の人類が夢をもてる社会にしたいという博愛精神をもっていて、周囲を幸せにする自由できままな雰囲気がある。
- 新しい時代を担う特定の思想や人物に献身的に尽くし、自分の理想を成し遂げていく責任感と自由への欲求がある。

- **冥王星**
- どんどんと物事を成し遂げていこうとする気持ちはあるが、動機が自己中心なので周囲から反発されるだけ。
- 今までの古い体制を徹底して破壊したいという欲求が強いが、具体的に再建するという実力が伴わず不満が多い。
- 古いものを破壊して新しい文明を創造したい欲求が強く、それを具体的にやっていく実力とカリスマ性がある。

81



休憩

次は占星学の星座の見方
生まれた時刻がわからない場合は、支配星は使いにくいので、どの星座に星が集中しているかをみたほうが良い。

82



占星学 星座は魂の源を示す

- **牡羊座(未成熟—成長途中—成熟の順番)**
- 独断専行でやっていくが一時的な感情と思いこみが動機であることが多く、実績が出ない。
- 無理だと思ふことでも、積極的にやっていく勇気があるが、人を傷つけることが多い。
- 男性的で活動的でエネルギッシュ。リスクを覚悟でやってみるが、人を傷つけることはしない。
- **牡牛座**
- 生活の安定と物質の保有が第一で、そのためには自己の楽しみや成長までも犠牲にしてしまう。
- しっかりと現実を見据えて、生活の安定を計ろうとするが、リスクをとらないので成長も今一步。
- 慎重でやたらに目先の利益に惑わされることはなく、着実に貯蓄をしていくが、お金の使い方も知っている。
- **双子座**
- 何にでも関心を示し、やってみるが、どれも長続きせず、文句ばかり言っていて、実績も残せない。
- 常識といわれることにも反発するような面があり、世の中の流れを敏感にとらえようと試行錯誤をする。
- 周囲の環境にあわせて臨機応変に柔軟に対応し、思いついたことは、納得するまで実行してみる。

83



占星学 星座は魂の源を示す

- **蟹座(未成熟—成長途中—成熟の順番)**
- 人と仲良くするのが得意だがそれは孤独を嫌う自己中心的な欲求のため。責任感がうすい。
- 自分がここにいるという価値を認めて欲しい欲求があり、そのため人との親和性が強い。
- 家庭的で、周囲の環境に順応し、人に親切である。しかも、責任感が強く、頼まれたことは成し遂げる。
- **獅子座**
- 社会の変動や人の心の動きに鈍感で、周囲の環境が変化しても、柔軟に対応できず遅れていくことが多い。
- 自分の感性にあったことは、誰が反対しても勇敢にやっていくが、動機は自己中心であることが多い。
- 快活で勇敢で全身全霊でやっていくが、動機は自分のためではなく、社会のためであることが多い。
- **乙女座**
- 自分は完全でありたいという欲求があるが、動機は自己中心的であり、他人の批判ばかりをしている。
- 人にうまくあわせていくことはできるが、本当の自分は傷つきたくないの他人にはなかなか見せない。
- 知的で言葉が丁寧で相手の気持ちを機敏に察する。鋭い感性と鋭敏さがあり、不正を許せない正義感がある。

84



占星学 星座は魂の源を示す

- **天秤座** (未成熟—成長途中—成熟の順番)
- 人の心に敏感で社交的に振る舞おうとするが、争いから逃げるため八方美人になりやすく信頼を得ることができない。
- 情報の収集力に優れ、全体が安定するためには自分がどのように動く必要があるのかを悟るが、面倒なことを避ける。
- 穏やかで協調的ではあるが、責任感もあり、自分の役目を、現状を分析しながら確実にやりとげていく。
- **蠍座**
- やたらに嫉妬と情熱が強く、感情に振り回されてしまい、自分の心を自分でコントロールできない。
- 自分が関心をもったことに関しては、異常に集中して成し遂げていくが、思いこみで失敗することがある。
- 非常に繊細で執念深く理想を追求していくが、常に過去の失敗を忘れず、現実に合わせていく柔軟性もある。
- **射手座**
- 動物的な欲求が強く、何かを追い求めているかと思えば、すぐに飽きてしまい別なものを追いかけていく。
- 他人からの干渉を嫌い、自由と独立を求めて積極果敢にやっけていくが、方向転換ができずに時に失敗する。
- 寛容で正直で優雅でありながら行動力があり、柔軟姿勢で挑戦し、最後までリスクを犯して成し遂げていく。

85



占星学 星座は魂の源を示す

- **山羊座**
- 自分の理性に従って頑なに生きていくが、楽しみとは無縁で人との親和性も低く、面白みがない。
- 時間を管理するという感覚に優れていて、今自分がすべきことを知っているが、自分の利益を中心にしやすい。
- 自己を厳しくコントロールでき責任感が強い。忠実に、しかも堅実に実務的に目標を達成するまで忍耐する。
- **水瓶座**
- 環境にあわせてどんどん自分の考えを変えていくが、やたらと常識や組織に反抗する傾向がある。
- 休む間もなく、いろいろなものに関心を示していくが、どれも中途半端になり、形のある実績を出せない。
- 個性的で友好的で人の情けを理解する進歩的な考えを持ち、楽しみながらも物事を達成していく。
- **魚座**
- 人に嫌われたくないという動機から、人に対して奉仕をするので、自己満足的なレベルで終わっている。
- 愛のために生きる信念があるが、自分勝手な思いこみになりやすく、人から利用されるだけになりやすい。
- 同情的で感性的で感性が豊かでありながらも、自分を厳しくコントロールし、相手にも厳しく対応ができる。

86



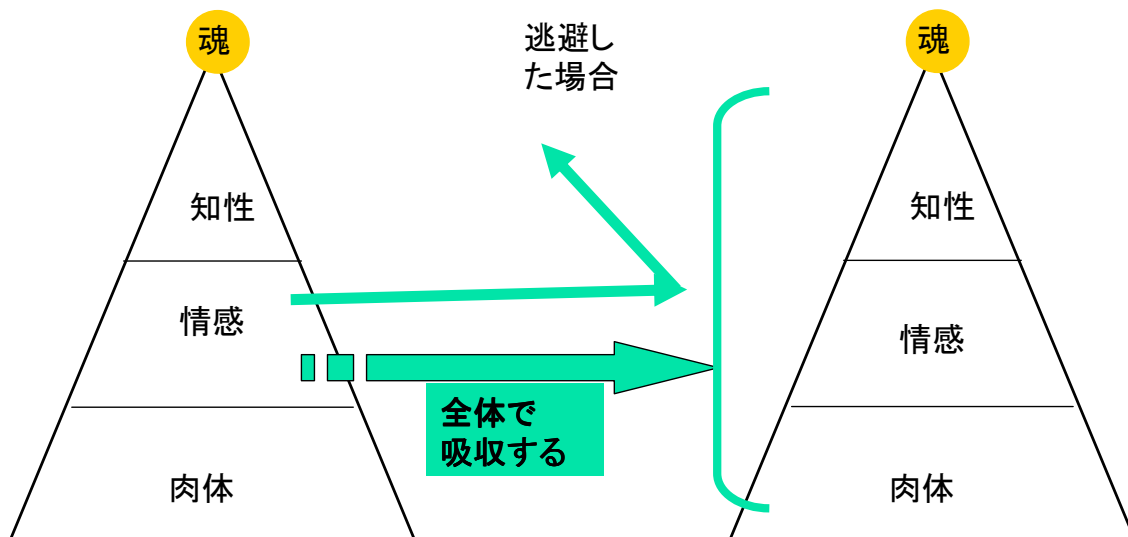
休憩

星の意味の説明は終わりです。
次は、人間関係向上の法則と全体
思考の法則をまとめます

87

人間関係向上の法則

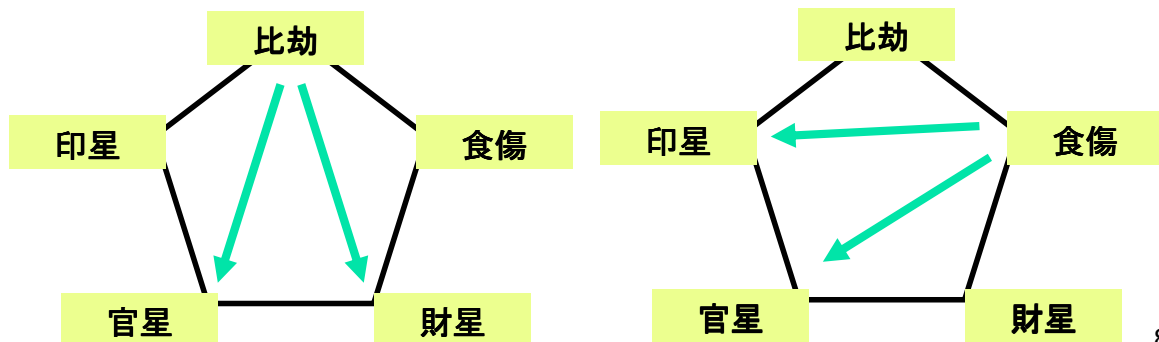
- 相手の情感からの反応から逃避して、自分を遠いところにおいてはいけない。これでは自分を傷つけることはないが、深いつながりはできない。相手の情感部分からの反応を吸い取ることで、深い交流が可能になる。



88

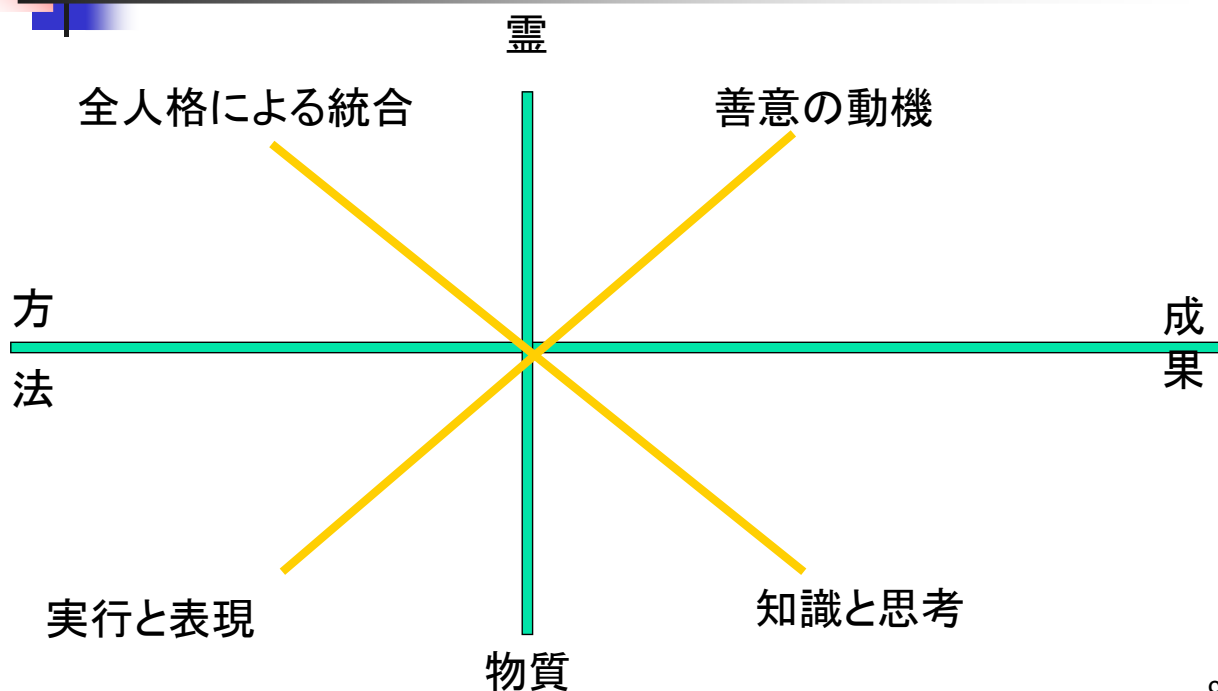
グループ全体のパワーをアップするには

- 自分と同じタイプの人とは合いやすいが、そういう人とグループをつくっても、グループ全体のパワーは期待できない。グループ全体のパワーをアップさせようと思うと、自分とは全く異なるタイプの人をグループに入れることです。
- たとえば、比劫なら財星・官星の人。食傷なら官星・印星の人。財星なら、印星と比劫の人。官星なら比劫と食傷の人。というふうに。
- 多くのタイプが集合し、様々な色が組み合わせることで、ダイナミックなパワーが生まれる。



89

全体思考の法則 (方法論は役に立たない)



90



休憩

次は特殊な傾向をもった人の事例
ある従業員500人の社員を実際に
調査した結果の内容です

91



特殊な傾向をもった人の事例1

- **水瓶座**または**魚座**に星が集中していて、**海王星・木星**が支配星の場合は、人に奉仕したり、人の役に立つことが大好きなタイプです。
- **海王星**が支配星で、日支の十二運星が**沐浴か絶**の人は、夢想的な行動をとりやすくなります。
- **天王星**が支配星で、**正官**が月干にある人は世間的な常識やルール・秩序を重要視します。
- **山羊座**または**射手座**に星が集中していて、**冥王星**が支配星の場合は、古いものを破壊し新しいものを創造する革新性と使命感があります。
- **土星**が支配星で日支の十二運星が**死**または**建禄・沐浴**の場合は、常に経済活動で忙しくしています。

92



特殊な傾向をもった人の事例2

- **木星**が支配星で日支の十二運星が**絶**の場合は、常に人と交流したいという欲求があり1人であることを嫌います。
- 日支の十二運星が**帝旺**で、日干が**戊・己・丙・丁**の場合は、数理計算に弱く、経理や予算管理が不得意です。
- **火星**が支配星で、日支の十二運星が**冠帯・建禄・長生**の場合は、攻撃的な姿勢で理想をおいかけていきます。
- **水星**が支配星で、月干と年干の通変星が**正官・正財**の場合は、人と人の調整をすることが得意です。
- 日干が**壬**で、**水星・火星**が支配星の場合は、戦術的な思考をして、先の先まで考えて行動をします。

93



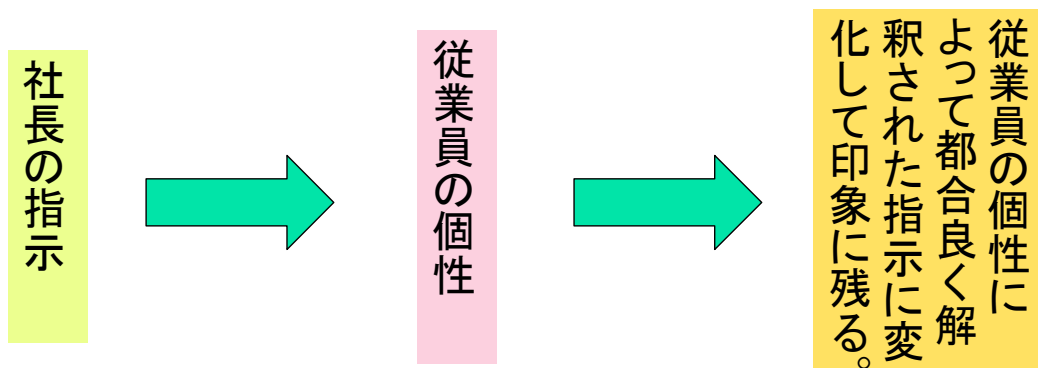
特殊な傾向をもった人の事例3

- **金星**が支配星で日干が**壬か丙**で、さらに日支の十二運星が**沐浴**の場合は、知識欲が旺盛で、本から真理を悟ろうとします。
- 月干の通変星が**正財**で年干の通変星が**正官**の場合は、バランスの良い考え方をするので、見ていて安心です。
- **牡牛座**に星が集合していて日支の十二運星が**冠帯・建禄**の場合は、お金やマイホームなどの物質の獲得に熱心です。
- **太陽**が支配星で日干が**庚**または、日支が**卯か酉**の場合は、自己中心的ですがパワーがあります。
- **乙女座**に星が集中していて、月干の通変星が**傷官**の場合は、鋭い感覚をもっていて、ものごとに対し批判的です。

94

従業員に対する指示は従業員の個性によって色づけされた形で理解される。

- 経営者が従業員に指示を出したとしても、それが十分に伝わらないことは、うんざりするほど経験済みだと思います。それは、従業員の個性によって、指示が色づけされてしまうからです。どんな色づけがされるのかは、今までの学習で予想がつくはずです。



95

共同研究企業を募集しています

- さて、実際の企業で従業員を診断して、このようなノウハウを蓄積することができましたが、すべての業種すべての年齢層でこのノウハウが使えるかどうかは、未定です。
- あなたが経営者の場合、従業員のことを一番深く観察しているのは、あなた自身のはずですから、実際の観察の結果と運命学の結果を比較照合することで、あなたの会社だけに適用できる人事ノウハウを開発することができます。
- 人事で運命学を使いたいという経営者は、当社と共同研究をすることで、自社にあった実用的な運命学を開発することができます。
- 希望者は support@fsoft.co.jp までご連絡ください。

96